

第94回日本学生氷上競技選手権大会ホッケー部門競技要項（ファーストディビジョン）

1. 参加資格

日本学生氷上競技連盟加盟校のうち、地区ごとに定められた枠数により出場権を得た各地区の代表14校と前大会ベスト16進出の16校、開催地域枠プラス1、前大会セカンドディビジョン優勝校の所属する地域枠プラス1の計32校。

今大会の各地区枠は次の通り。北海道3（開催地枠+1）、東北2、北信越1、関東3（第92回大会セカンドディビジョン優勝+1）中部1、関西3、中四国1、九州2、及び昨年度ベスト16進出校（関東地区12、関西地区3、北信越地区1）、計32校。

2. 出場制限

(1)ベンチ入りする選手は、ゴールキーパー最小1名、最大2名。プレイヤー最小10名、最大20名とし、ゴールキーパー1名を含み総勢11名未満のチームは出場資格を持たない。

(2)試合に際して、登録された責任者(チームを管理するスタッフ:監督、コーチ等)が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小1名、最大6名とする。スタッフとは監督・コーチとして(公財)日本アイスホッケー連盟に登録されている者とする。

(3)外国籍学生の出場は1校につき2名以内とする。

(4)学生ドアマンについては、本大会登録選手・マネージャーが2名以内でベンチ入りすることができる。その際には必ずフルフェイスマスクのついたヘルメットを着用しなければならない。またドアマンもスタッフ含む。

3. 競技方法

(1)上記32校によるトーナメント戦により1位～5位を決定する。

(2)試合は正味20分×3ピリオドで行う。インターバルは10分とする。タイムアウト(30秒)は、全試合において各チームが1回を使用できるものとする。

(3)第3ピリオド終了時点において同点の場合、下記の方法で勝敗を決定する。

①1回戦より準々決勝戦においては、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ペナルティー・ショット・シュートアウト」(PSS)の方式に従うが、5名ではなく3名による「ペナルティー・ショット・シュートアウト」により勝敗を決定する。この場合3名のノミネートは不要で、リンクサイドは片面だけを使う。なお、3名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式(サドンデス)で行い、タイ・ブレイクへ入ったら、同じ選手が何回続けてショットしても良い。なお、3名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式(サドンデス)で行い、タイ・ブレイクへ入ったら、同じ選手が何回続けてショットしても良い。

②準決勝戦、3位決定戦及び決勝戦は、第3ピリオド終了直ちにサイドチェンジは行わず5分間のスケーター3対3によるサドンデス方式の延長戦により勝敗を決定する。延長戦でも決しない場合は、上記①による「ペナルティー・ショット・シュートアウト」(PSS)により勝敗を決定する。

(4)練習時間は、1・2回戦は7分間、準々決勝以降は10分間。

(5)日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、2018年に改定された国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。

4. シード

- (1)前大会（第92回釧路大会）ベスト16進出校がシードされる。
- (2)ベスト4校は、順位により定められた位置にシードされる。
- (3)5位4校のシード位置は、第92回釧路大会期間中に抽選によって決定済みである。

5. 得点

ベスト8進出校に得点を与える。1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位(4校)は2.5点ずつとする。

6. 表彰

- (1)優勝校には優勝杯を授与し、1～3位に賞状を授与する。
- (2)全参加者のうち、1名に最優秀選手【MVP】賞を授与する。
- (3)ベスト4進出校のうち準々決勝戦からのポイントを計算し、【得点王】賞及び【アシスト王】賞を授与する。
- (4)ポジションごと（FW3名、DF2名、GK1名）に優秀選手を選出し、【ベスト6】賞を授与する。

7. その他

本年度大会において確定した5位4校については、大会期間中に抽選により次年度大会のシード位置を決定する（詳細については、監督主将会議で発表する。）

※各地区予選に関してもこの要項に準じて行うものとする。